

志津見ダム水源地域ビジョン策定委員会 第2回委員会 議事概要

- 1 開催日時 : 平成 24 年 2 月 20 日(月) 10:00~12:00
- 2 場 所 : さつき会館(島根県飯石郡飯南町八神 117-1)
- 3 出席委員 : 山碕英樹委員長、山下潔委員、天津芳郎委員、植田充弘委員、平山大輔委員

4 議事次第

- 1) 開会
- 2) 挨拶 委員長 飯南町長 山碕 英樹
- 3) 出席者紹介
- 4) 議事
 - ①経過報告
 - ②志津見ダム水源地域ビジョンの理念・目標・基本方針について
 - ③志津見ダム水源地域ビジョンにおける施策について
 - ④志津見ダム水源地域ビジョンの構成について
 - ⑤今後の予定について
- 5) 閉会

5 配布資料

- ・資料-1 : 志津見ダム水源地域ビジョンの検討状況
- ・資料-2 : 志津見ダム水源地域ビジョンの理念・目標・基本方針
- ・資料-3 : 志津見ダム水源地域ビジョンの施策(案)
- ・資料-4 : 志津見ダム水源地域ビジョンの目次(案)

6 議事要旨

1) 議事各委員からの主な意見

①経過報告

- ・志津見ダムだより、ニュースレターは出雲市に配布しているが松江市にも配布するよう検討する。

②志津見ダム水源地域ビジョンの理念・目標・基本方針の一部修正について

- ・志津見ダム水源地域ビジョンの理念・目標・基本方針の一部修正が委員会で承認された。

③志津見ダム水源地域ビジョンにおける施策について

- ・施策テーマ②自然環境の保全活用施策のエコロジカルネットワークは、上下流の交流施策も関連してくる。神戸川流域の小学校同士の交流、学校の教育施策として取り組むことができれば、将来的に地域を担う子ども達のためにもいいと考える。
- ・民具、遺物(土器等)など貴重なものがあるが、島根県立古代出雲歴史博物館に展示されている。飯南町教育委員会の文化としての視点から、里がえり展示で広く見ていただくような機会が必要であると考えている。
- ・雲南県土整備事務所では、川や道路の環境整備にも取り組んでおり、協力して進めていきたいと思っている。志津見ダム周辺で島根県が管理している国道 184 号、主要地方道川本波多線は雲南圏域の中でも重点区域として草刈りを行う予定であり、具体的には地元と相談しながら進めていきたい。
- ・短期、中期、長期の中身をみると、「すぐやる」か「次にやる」か「最後にやる」かの仕分けであるので、早期、中期、後期というような仕分けがいいのではないかと。
- ・広域的な取り組みが非常に大切であり、志津見ダム、ダム湖は島根県民の心のふるさとになってくれ

ばいいと思う。もう少し幅の広い取り組みが必要だ。

- ・尾原ダムとは兄弟・姉妹ダムの位置づけであるので連携も必要だと思う。県の皆様の努力、全面的な協力が無いと地元だけでは発想が浮かばないので、財政的な指導もあわせてお願いしていきたい。
- ・「施策」という言葉は行政的である。施策テーマは「ふるさとづくりのテーマ」、施策の分類は「プロジェクト」にして、取り組み施策も「アクションプラン」とか、もう少し柔らかい言葉がいいのでは。
- ・神戸川「川の駅づくり」は、拠点という意味での川の駅だと思うが、駅はいくつかあった方がいい。神戸川下流、松江を含めて水系、流域の中でいくつかの駅をネットワークでつなぐことが出来ればいいと思うので、河川事務所としても取り組んでいきたい。
- ・連携施策で、三瓶山、石見銀山、大田市、川本町は出てくるが、雲南市が出てこない。西側だけの連携だとわざわざ志津見へ来て帰るというイメージとなるため通過交通をうまく取り込んだ連携が必要と思う。雲南市にも様々な観光地があり、吉田掛合 IC もできることから三瓶観光と結びつけた流れの中に志津見、うぐいす茶屋を組み込んだ一環としての連携の仕方があると思う。
- ・放牧は、河川敷だと糞が流されダムの富栄養化が出てくるので気になるため、方法の検討が必要である。
- ・尾原ダム、志津見ダムの今後の利用については、県に指導いただいて、資金的なところの目処をしっかりとしていかなければならないということで、取り組みの検討を始めようとしている。尾原ダムとのソフト活動での連携も出てくると思うので、県と雲南地域 1 市 2 町で安定的な資金確保を図ることができないかを検討している。
- ・先行施策の実施主体を明記することとなっているが、施策内容に幅が広く、一部の部局だけでは決定づけられない。よって、機関内で十分、協議、調整が必要と考える。

④志津見ダム水源地域ビジョンの構成について

- ・提示した志津見ダム水源地域ビジョンの目次構成でビジョンのとりまとめを進めることについて、委員会の承認を得た。

⑤今後の予定について

- ・2月27日に「第4回 志津見ダムの活用を語る会」を開催し、施策内容の具体化、ビジョン（素案）、ビジョンの推進体制などを検討する予定で、その後、次回、第3回委員会を3月中旬頃に開催し、ビジョン（案）、ビジョンの推進体制、ビジョンの公表方法などを審議していただく予定。

以 上